

1、司会・出席役員紹介 吉田地区委員 出席者：135名

大谷ガバナー、松本ガバナーエレクト、岡部ガバナーノミニ  
宮田国際奉仕部門顧問

IM第1組

IM第2組 北田ガバナー補佐エレクト

IM第3組 西原ガバナー補佐エレクト

IM第4組 山片ガバナー補佐エレクト

IM第5組 井上ガバナー補佐

IM第6組

IM第7組 青木ガバナー補佐、田中ガバナー補佐エレクト

IM第8組 藤田ガバナー補佐、泉 ガバナー補佐エレクト

五味地区財団法人道的補助金委員会次期委員長

戸田地区国際奉仕・WCS委員長、古澤副委員長、石田委員、吉田委員、栗原委員、小林副委員長

2、宮田 宏章 国際奉仕部門顧問 開会挨拶

国際奉仕活動に関心を持っていただき、協力して活動することにより地区やクラブを活性化させようというのが今年度のテーマでした。私は数年前に、ロータリー財団の地区委員長、そして国際奉仕委員会の地区委員長を致しましたが、その時はなかなか国際奉仕やWCS活動は身近なものではありませんでした。添付資料の今年度の国際奉仕・WCS委員会活動進捗表を拝見しますと、各クラブが大変な工夫をされて、いろいろな国に、様々な角度から大変良く奉仕活動をやられていると感心しています。今日のこれからの数時間を楽しんでください。

3、戸田 和孝 地区国際奉仕・WCS委員長

- ・カンボジアプロジェクトがTRFからMG承認された報告
- ・国際奉仕活動と世界社会奉仕活動についての復習
- ・最終報告書の提出が中間報告もなく、ホストRCにTRFから資金が振り込まれた後1年以上を過ぎると、クラブのみならず地区にも罰則が来て、DDFが貰えない場合もありますので、期間等に、十分注意しておいてください。
- ・パイロット地区とMGをする時の注意点とパイロット地区一覧表
- ・次年度もWF枯渇の問題が予想されるので、地区DDF申請を、6月1日から受け付けます。
- ・7月1日には、MG申請書がTRFに送ることが出来る様に、準備されるのが賢明でしょう。
- ・詳細や質問は、ご遠慮なくIM担当者に、ご相談ください。

#### 4、五味 千秋 地区財団法人道的補助金委員会次期委員長

- ・ MGとDDFについて
- ・ MGの落とし穴について
- ・ ややこしい英語略語の手引き
- ・ MGに関わる参考資料紹介
- ・ 日本語版DDF申請書
- ・ 日本語版MG申請書
- ・ 英文の申請書におけるサインはすべて筆記体と決められていますので、独自性のあるサイン等を練習してサイン文化に馴染んでください。
- ・ MGをした場合は、事業の進捗状況に常に気を配ることと、ホストクラブと意思の疎通を図る努力を怠らないようにして、最終報告書が滞りなく提出できるように、準備をしておいてください。

休憩

#### 5、大谷 透 ガバナー 挨拶

地区大会にビチャイ・ラタクル様においでいただきご挨拶を拝聴する機会を得ました。

お話の中で、「ロータリークラブが親睦だけで、ここまで続き、このような発展を迎える事が出来たのでしょうか？いいえ、職業奉仕と社会奉仕・国際奉仕というより高い目標をもったからこそ、今日の発展があるのだと信じています」と話されましたが、まさにその通りだと感動しました。

又、ハイチ地震のニュースを聞いておりました時、そこですぐに奉仕活動をした人たちの話が流れていました。その方たちは、頭の中に常に奉仕の理想があったからこそ、そのような活動が素早くできたのではないかと推察し、常に奉仕について考えていることは、大切なことだと感じました。そして共に感動を分かち合い、学びあい、ロータリーを身につけていく努力を、惜しまないようにして欲しいと希望します。

#### 6、WCSプロジェクト活動発表 栗原 大 地区委員

「タイ バンコク ドゥアン・プラティプ財団 消防センター設立」 大阪フレンドRC

#### 7、次年度地区WCSプロジェクト現地視察報告 小林 澄子 地区副委員長

「トルコプロジェクト検証と次期プロポーザル視察報告」

#### 8、WCS基金会計報告 古澤 照明 地区副委員長

## 9、質疑応答

Q1: 今年度WCS事業を行わなかったクラブは地区WCS基金に振込むよう推奨されているが、これは必ず行わなければならないのですか？

A1: 強制ではありませんが、地区WCS基金がどのように使われているかといいますと、  
a、吹田RCが、継続して支援されてきたミャンマーのように、ロータリー財団から制裁国とされて、WFが使用できない国に使用しました。

b、今回のカンボジアの様に、WFが使えない建築物等に、使用しました。

c、大きな金額の要請が来ている事業に、使用しました。

このように地区WCS基金は、有効に奉仕事業に使用させていただいております。

「クラブで、今年は独自のWCS事業をしませんでしたので、地区に拠出し、他クラブの分と合わせて有効に活用して欲しい」と、お考えのクラブは、「地区WCS基金に振込んでください」というのが、本旨です。

Q2: 今年度は、WCS事業は行わないが、次年度のために視察に行く場合などに使うので、WCS基金に振込むことができなくても、大丈夫でしょうか？

A2: もちろんクラブのWCS資金ですので、大丈夫です。

Q3: DSG（地区補助金）は、具体的にどのような使い方ができますか？

A3: 国際奉仕活動に限定してお答えします。

DSGは、ロータリークラブがない国において、奉仕活動をする時に使用します。

ロータリークラブがまだ出来ていない国は、相手国にホストクラブがないのでWCSとなりません。従って国際奉仕活動ということになりますが、現地の人道的奉仕活動団体を支援するとか、クラブ独自のプロジェクトを企画することになります。

この場合も、地区にDSG申請書を提出し、承認されれば、1件のプロジェクトにつき総額の半額（上限は約20万円）が補助されます。但し注意点は、TRFが制裁国としているミャンマー、北朝鮮はもちろんMGは不可ですが、DSGも使用不可と決められています。もう一つの注意点は現地の奉仕活動団体の正体を良く見極めることです。

## 10、松本 新太郎 ガバナーエレクト 閉会挨拶・所感

本日はご苦勞様でした。今日の活発な会議の内容を次年度の活動に生かしていただきたい。

以上

文責 小林